

特208

191

年六月改正

# 貯蓄銀行法及同法施行細則

附大正一〇年・大正一一年・昭和六年勅令

東京銀行研究社



0029132-000

特208-191

## 貯蓄銀行法及同法施行細則

銀行研究社・編

銀行研究社

昭和11年6月改正

昭和11

ADI

特208

191

一年六月改正

# 貯蓄銀行法及同法施行細則

附大正一〇年・大正一一年・昭和六年勅令

東京銀行研究社

3  
9

特208  
191

# 貯蓄銀行法

(大正十年四月十四日)  
法律第七十四號

(改正) 昭和二年法律第二十四號、同六年法律第四十一號、同十年法律第四十四號

## 第一條

左ニ掲タル業務ヲ營ム者ハ之ヲ貯蓄銀行トス

- 一 複利ノ方法ニ依リ預金ヲ受入ルルコト
- 二 一回十圓未満ノ金額ヲ預金トシテ受入ルルコト
- 三 豫メ拂戻ノ期限ヲ定メ定期ニ又ハ一定ノ期間内ニ於テ數回ニ預金ヲ受入ルルコト
- 四 期限ヲ定メテ一定金額ノ給付ヲ爲スコトヲ約シ定期ニ又ハ一定ノ期間内ニ於テ數回ニ金錢ヲ受入ルルコト

貯蓄銀行ニ非サルモノハ前項ノ業務ヲ營ムコトヲ得ス但シ貯蓄銀行ニ非サル銀行カ預金取引ヲ有スル者ヨリ其ノ者トノ取引ノ結果生シタル十圓未満ノ金額ヲ其ノ預金ニ受入レ又ハ小切手ニ依リ支拂ヲ爲スヘキ預金取引ヲ有スル者ヨリ十圓未満ノ金

額ヲ其ノ預金ニ受入ルル場合ハ此ノ限ニ在ラス

## 第二條

貯蓄銀行業ハ主務大臣ノ免許ヲ受クルニ非サレハ之ヲ營ムコトヲ得ス

前項ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ定款及業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面ヲ添附シ之ヲ主務大臣ニ提出スヘシ

## 第三條

貯蓄銀行業ハ資本金五十萬圓以上ノ株式會社ニ非サレハ之ヲ營ムコトヲ得ス

## 第四條

貯蓄銀行ハ其ノ商號中ニ貯蓄銀行ナル文字ヲ用ウヘシ

貯蓄銀行ニ非サルモノハ其ノ商號中ニ貯蓄銀行ナル文字ヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

## 第五條

貯蓄銀行ハ第一條第一項ノ業務ノ外左ニ掲クル業務ヲ併セ營ムコトヲ得

- 一 定期預リ金
- 二 保護預リ
- 三 債權ノ取立
- 四 公共團體又ハ產業組合ノ金錢出納事務ノ取扱
- 五 公共團體又ハ產業組合ヨリノ要求拂預リ金
- 六 國債、地方債又ハ特別ノ法令ニ依リ設立シタ



ル法人ノ債券ノ割賦販賣

七 國債其ノ他前號ニ掲クル有價證券ノ募集又ハ其ノ元利金支拂ノ取扱

第六條 貯蓄銀行ハ本法ニ規定セサル業務ヲ營ムコトヲ得ス

第七條 貯蓄銀行カ貯蓄銀行ノ營ムコトヲ得サル業務ニ屬スル契約ニ基ク權利義務ヲ合併ニ因リテ承繼シタル場合ニ於テハ其ノ契約ノ完了スル迄仍其ノ契約ノ屬スル業務ニ限り之ヲ繼續スルコトヲ妨ケス

第八條 貯蓄銀行ハ小切手ニ依リ支拂ヲ爲ス第一條第一項第一號第二號ノ預金取引ヲ爲スコトヲ得ス

第九條 貯蓄銀行ハ第一條第一項及第五條第一號第五號第六號ノ規定ニ依リ受入レタル金額ノ三分ノ一以上ノ金額ニ相當スル國債ヲ供託スヘシ但シ供託金額中受入金額ノ五分ノ一ヲ超ユル額ニ付テハ第十一條第一項第一號ノ有價證券ヲ以テ國債ニ代フルコトヲ得

貯蓄銀行ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ大藏省預金部ヘノ預ケ金ヲ以テ前項ノ供託ニ代フルコトヲ得

第一項ノ受入金額ハ每半年末日現在ニ依リ之ヲ定ム

第十條 預金者、第一條第一項第四號ノ規定ニ依ル給付金ノ債權者及第五條第六號ノ規定ニ依ル有價證券ノ給付ヲ受クヘキ債權者ハ其ノ預金、給付金及有價證券ノ給付ヲ受クヘキ債權ニ關シテハ前條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券並ニ供託ニ代ヘタル大藏省預金部ヘノ預ケ金ニ付テ他ノ債權者ニ先チ辨濟ヲ受クルノ權利ヲ有ス

前項ノ規定ニ依リ優先辨濟ヲ受クル範圍ハ預金額給付金額又ハ給付ヲ受クヘキ有價證券ノ時價ヲ限度トス但シ給付金又ハ有價證券ノ給付ヲ受クヘキ債權ニシテ給付金又ハ有價證券ノ給付時期到來セサルモノニ付テハ既ニ拂込ミタル金額ヲ限度トス

第十一條 貯蓄銀行ハ左ノ方法ニ依ルノ外其ノ資金ヲ運用スルコトヲ得ス

一 國債、地方債、社債、株式又ハ滿洲國有價證券ノ應募、引受又ハ買入

二 國債其ノ他前號ニ掲クル有價證券ヲ買トスル貸付

三 不動産ヲ抵當トスル貸付

四 預金者ニ對シ其ノ預金額ヲ限度トスル貸付

五 第一條第一項第四號ノ規定ニ依ル給付金ノ債權者ニ對シ其ノ給付金額ヲ限度トスル貸付

六 第五條第六號ノ規定ニ依ル有價證券ノ給付ヲ受クヘキ債權者ニ對シ既ニ拂込ミタル賦拂金ヲ限度トスル貸付

七 道府縣市町村ニ對スル一年內ノ貸付

八 割賦償還ノ方法ニ依ル二年內ノ貸付

九 銀行若ハ大藏省預金部ヘノ預ケ金又ハ郵便貯金

十 主務大臣ノ定ムル所ニ依リ信託會社ヘ爲ス金

錢又ハ有價證券ノ信託

十一 銀行又ハ信託會社ノ引受アル手形ノ買入前項ニ規定スル社債、株式及滿洲國有價證券ニ付テハ其ノ種類ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十二條 貯蓄銀行ノ所有シ又ハ貸付金若ハ預ケ金ノ擔保トシテ受入ルル一會社ノ株式ハ該會社ノ總株式ノ五分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第十三條 一人ニ對スル貸付金額ハ拂込資本金及準

備金ノ十分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第十一條第一項第三號又ハ第七號ノ規定ニ依ル貸付金ノ總額ハ各拂込資本金及準備金ノ總額ヲ、第十一條第一項第八號ノ規定ニ依ル貸付金ノ總額ハ拂込資本金及準備金ノ五分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第十一條第一項第五號ノ貸付金額中既ニ受入レタル金額ヲ超過スル額ニ付テハ確實ナル擔保又ハ保證アルコトヲ要ス

第十一條第一項第八號ノ規定ニ依ル貸付金ハ一人ニ付千圓以下トシ且確實ナル二人以上ノ保證アルコトヲ要ス

第十四條 一銀行ニ對スル預ケ金及其ノ銀行ノ引受ケタル手形ノ買入高ノ總額ハ第一條第一項及第五條第一號第五號第六號ニ規定スル受入金ノ十分ノ一ヲ限度トシ且該銀行ノ拂込資本金及準備金ノ四分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス但シ其ノ總額中國債其ノ他第十一條第一項第一號ニ掲クル有價證券ヲ以テ擔保セラレタル額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九條第三項ノ規定ハ前項ノ受入金ノ額ニ付之ヲ

準用ス  
前二項ノ規定ハ一信託會社ニ對スル信託財產及其ノ信託會社ノ引受ケタル手形ノ買入高ノ總額ニ付之ヲ準用ス

**第十五條** 貯蓄銀行カ其ノ財產ヲ以テ債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ第一條第一項及第五條第一號第五號第六號ノ規定ニ依ル契約ニ基ク銀行ノ債務ニ付各取締役ハ連帶シテ其ノ辨償ノ責ニ任ス

前項ノ責任ハ取締役ノ退任登記前ノ債務ニ付退任登記後二年間仍存續ス

**第十六條** 貯蓄銀行ハ左ノ場合ニ於テハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

- 一 定款ヲ變更セムトスルトキ
  - 二 業務ノ種類又ハ方法ヲ變更セムトスルトキ
- 主務大臣ハ必要ト認ムルトキハ業務ノ種類若ハ方法ヲ制限シ又ハ其ノ變更ヲ命スルコトヲ得

**第十七條** 有價證券割賦販賣業法ハ第一條及第八條乃至第十一條ノ規定ニ依リ貯蓄銀行ニシテ第五條第六號ノ業務ヲ營ム者ニ付之ヲ適用ス

#### 附則

**第二十三條** 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

**第二十四條** 貯蓄銀行條例ハ之ヲ廢止ス

舊法ニ依リテ營業ノ認可ヲ受ケタル貯蓄銀行ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ本法ニ依リテ免許ヲ受ケタル貯蓄銀行ト看做ス

舊法ニ依リテ爲シタル認可、處分其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

**第二十五條** 前條第二項ノ貯蓄銀行ノ資本金ニ付テハ本法施行後五年ヲ限リ仍舊法ニ依ル

**第二十六條** 第二十四條第二項ノ貯蓄銀行ニシテ現ニ其ノ商號中ニ貯蓄銀行又ハ貯蓄銀行ナル文字ヲ用ウルモノニ限リ第四條第一項ノ規定ニ拘ラス仍其ノ商號ヲ用ウルコトヲ得

**第二十七條** 第二十四條第二項ノ貯蓄銀行カ第九條ノ規定ニ依リテ爲スヘキ供託ニ付テハ本法施行後二年ヲ限リ仍舊法ニ依ル但シ其ノ期間内ニ於テ新ニ供託ヲ爲ス場合ニ於テハ第一條第一項ノ規定ニ依リ受入レタル金額ノ四分ノ一迄ハ國債ニ限ル

**第十八條** 主務大臣ノ免許ヲ受ケスシテ貯蓄銀行業ヲ營ミタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

**第十九條** 左ノ場合ニ於テハ貯蓄銀行ノ取締役、監査役又ハ清算人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

- 一 第六條、第八條、第九條、第十一條乃至第十四條及第十六條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 第十六條第二項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ爲シタル命令ニ違反シタルトキ
- 三 有價證券割賦販賣業法第十條ノ規定ニ違反シタルトキ

**第二十條** 第四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ過料ニ處ス

**第二十一條** 本法ニ別段ノ規定ヲ設ケサル事項ニ付テハ銀行法ニ依ル

銀行法第十五條又ハ第二十六條ノ規定ノ適用ニ付テハ第一條第一項第四號ノ規定ニ依ル給付金及第五條第六號ノ規定ニ依リ給付ヲ爲スヘキ有價證券ハ之ヲ預金ト看做ス

**第二十二條** 貯蓄銀行業ヲ營ム者ニハ其ノ納付スヘキ營業收益稅額ノ二分ノ一ヲ免除ス

**第二十八條** 本法施行前貯蓄銀行ノ爲シタル契約ニシテ本法ニ依リ貯蓄銀行ノ爲スコトヲ得サル業務ニ屬スルモノニ付テハ其ノ契約ノ完了スル迄仍其ノ契約ノ屬スル業務ニ限リ之ヲ繼續スルコトヲ得

**第二十九條** 本法施行ノ際現ニ貯蓄銀行ノ所有スル公債、社債又ハ株式ニシテ第十一條第一項第一號ノ規定ニ依リ應募、引受又ハ買入ヲ爲スコトヲ得サルモノハ本法施行後三年ヲ限リ仍之ヲ所有スルコトヲ得

本法施行ノ際現ニ貯蓄銀行ノ所有スル株式ニシテ第十二條ノ規定ニ依ル限度ヲ超ユルモノニ付テハ本法施行後三年内ニ之ヲ其ノ限度ニ適合セシムヘシ

**第三十條** 本法施行ノ際一銀行ニ對スル預ケ金及其ノ銀行ノ引受ケタル手形ノ買入高ノ總額カ第十四條第一項ノ規定ニ依ル限度ヲ超ユル場合ニ於テハ本法施行後二年内ニ之ヲ其ノ限度ニ適合セシムヘシ

**第三十一條** 貯蓄銀行ノ取締役ニシテ本法施行前退任シタル者ノ貯蓄銀行條例第三條ノ規定ニ依ル責

任ニ付テハ仍舊法ニ依ル

**第三十二條** 本法施行前貯蓄銀行條例第一條ノ事業ヲ廢止シタル者ハ既ニ締結シタル契約ノ完了スル迄仍其ノ契約ノ屬スル業務ニ限り之ヲ繼續スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ貯蓄銀行條例第三條乃至第六條ノ二及第九條ノ二ノ規定ヲ準用ス

**第三十三條** 本法施行ノ際貯蓄銀行ニ非スシテ現ニ大正四年法律第二十三號附則第四項ノ規定ニ依リ本法第一條第一項第三號第四號ノ業務ヲ繼續スル者ニ關シテハ仍舊法ニ依ル

(大正十年勅令第二百八十四號ヲ以テ同十一年一月一日ヨリ施行)

**貯蓄銀行法施行細則**

(大正十年八月五日 大藏省令第二十九號)

(改正) 大正一一年省令第二四號、昭和二年省令第三二號、同六年省令第二〇號、同一年省令第二二號

**第一條** 貯蓄銀行業ヲ營ムトスル株式会社ハ免許申請書ニ總取締役署名シ左ノ書類ヲ添附シテ之ヲ大藏大臣ニ提出スヘシ

一定款

- 一 業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面
  - 二 免許申請前日ニ於ケル日計表
  - 三 預ケ先ノ預金證明書
  - 四 非訟事件手續法第百八十七條第二項第二號乃至第七號ニ記載シタル書類
  - 五 株式會社ニシテ其ノ目的ヲ變更シテ貯蓄銀行業ヲ營ムトスルモノハ前項第四號及第五號ノ書類ニ代ヘ左ノ書類ヲ添附スヘシ
    - 一 會社登記簿ノ謄本
    - 二 最終ノ財産目錄及貸借對照表
    - 三 最終ノ損益計算及利益處分ニ關スル書面
    - 四 株主ノ氏名及持株數ヲ記載シタル書面
- 第二條** 業務ノ種類及方法ヲ記載スル書面ニハ左ノ區分ニ依リ其ノ營ム業務ノ種類ヲ記載スヘシ
- 一 普通貯金 (貯蓄銀行法第一條第一項第一號及第二號ノ預金)
  - 二 据置貯金 (貯蓄銀行法第一條第一項第三號ノ預金)
  - 三 定期積金 (貯蓄銀行法第一條第一項第四號ノ預金)

三 當期末現在割賦販賣契約ノ狀況

種類	契約期間	口數	契約高	賦		計
				受入済高	受入未済高	
何公債	一年以内		円			円
	二年以内					
	三年以内					
	四年以内					
	五年以内					
	計					
種類	一年以内					
	二年以内					
	三年以内					
	四年以内					
	五年以内					
	計					
計						
受入金						
給付						
契約高						
口數						
受入金						



種	類	債	預金部預金	計	地方債	社債	株式	滿洲國有價證券	合計
	券面總額又ハ株數	円			円		株	円	
	價								
	額		円						

(當期末現在高ニ對シ翌期ニ入りテ新ニ供託若ハ供託代用ヲ爲シタル場合又ハ下戻若ハ代用廢止ヲ爲サムト  
スル場合ト雖之ヲ加除シ記載スヘシ)

二 供託有價證券内譯

種	類	債	單價	總價	總額
國	債	円	円	円	円
	券面總額又ハ株數	円			
	拂込總額	円			
	價		円		
	總額			円	円

何	公	債	地方債	何市何公債	社債	何會社何社債	株式	何會社何株式 (株何區補込ノモノ)	滿洲國有價證券	何公債
							株		円	

三 供託代用預金部預金内譯



供託代用濟年月日	拂戻期限	金額
		円

第十七項 利息支拂備金

(本項ニハ据置貯金ノ利息ニ付之ヲ記載スヘシ)

前期繰越高	当期増加高	当期減少高	當期末現在高
円	円	円	円

第十八項 給付補填備金

(本項ニハ定期積金ノ給付金額ノ拂込總額ヲ超過スル額ニ付前項ノ例ニ準シテ記載スヘシ)

第十九項 有價證券給付補填備金

(本項ニハ有價證券割賦販賣ノ給付豫定價額ノ賦拂金總額ヲ超過スル額ニ付第十七項ノ例ニ準シテ記載スヘシ)

第二十項 未拂利息其ノ他

(本項ニハ第十七項乃至第十九項以外ノ損金ニシテ其ノ支拂期限到達セルモ未拂ニ係ルモノ及支拂期限到達セサルモ当期ノ負擔ニ屬スルモノノ合計ヲ「未拂預金利息」及「未拂税金其ノ他」ニ區分シ第七項ノ例ニ準シテ記載スヘシ但シ口數ノ桁ヲ省略スルコトヲ得)

第二十一項 未拂配當金

(本項ハ第十七項ノ例ニ準シテ記載スヘシ)

第二十二項 未經過利益

(本項ニハ既收益金ニシテ翌期ノ利益ニ屬スヘキモノヲ第十七項ノ例ニ準シテ記載スヘシ)

第二十三項 預金利子諸税

(本項ニハ預金ノ利息ニ對シテ課セラレタル諸税ニシテ未タ納付セサルモノヲ第十七項ノ例ニ準シテ記載スヘシ)

第二十四項 所有有價證券

一 當期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	当期増加高	当期減少高	当期價額(却引上)高	當期末現在高	同上所在高
國債	円	円	円	円	円	円
地方債						
社債						
株式						
滿洲國有價證券						
計						

二 當期末現在有價證券種類内譯

種別	券面總額又ハ株數	拂込總額	單價	價總額	價總額
國債	円	円	円	円	円
地方債					
社債					
株式					
滿洲國有價證券					
計					



一 當期間ニ於ケル増減

前期繰越高	當期貨付高	當期回收高	當期銷却高	當期末現在高	同上口數
円	円	円	円	円	

二 當期末現在擔保別

種	類	評	價	額	貸	付	高
田	畑			円			円
宅	地						
建	物						
計							

第二十七項 預金者ニ對スル貸付金

(本項ニハ貯蓄銀行法第十一條第一項第四號ノ規定ニ依ル貸付金ヲ記載スヘシ)

前期繰越高	當期貨付高	當期回收高	當期銷却高	當期末現在高	同上口數
円	円	円	円	円	

第二十八項 定期積金者ニ對スル貸付金

(本項ニハ貯蓄銀行法第十一條第一項第五號ノ規定ニ依ル貸付金ヲ記載スヘシ)

前期繰越高	當期貨付高	當期回收高	當期銷却高	當期末現在高	同上口數
円	円	円	円	円	

一 當期間ニ於ケル増減

二 當期末現在高内譯

當期末現在高	内		定期積金受入高ヲ超過スル金額
	定期積金受入高ニ相當スル金額	擔保アル金額	
円	円	円	円

(貸付金額カ定期積金受入高以内ノモノハ其ノ金額ヲ當期末現在高ノ桁ニ内書スヘシ)

第二十九項 割賦販賣契約者ニ對スル貸付金

(本項ニハ貯蓄銀行法第十一條第一項第六號ノ規定ニ依ル貸付金ヲ第二十七項ノ例ニ準シテ記載スヘシ)

第三十項 道府縣市町村ニ對スル貸付金

(本項ニハ貯蓄銀行法第十一條第一項第七號ノ規定ニ依ル貸付金ヲ第二十七項ノ例ニ準シテ記載スヘシ)

第三十一項 割賦償還貸付金

(本項ニハ貯蓄銀行法第十一條第一項第八號ノ規定ニ依ル貸付金ヲ記載スヘシ)

一 當期間ニ於ケル増減

前期繰越高	當期貨付高	當期回收高	當期銷却高	當期末現在高	同上口數
円	円	円	円	円	

二 當期末現札貸付高ヲ金額ノ大小ニ依リ區別スレハ左ノ如シ

口數	五百圓以上	百圓以上	百圓未満	計	一口當金額
貸付金	円	円	円	円	円

三 債務者ヨリ受入アル預金、積金ノ當期末現在高左ノ如シ

種類	金額	口數
普通貯金	円	
定期積金		
計		

一 第三十二項 預ケ金及郵便貯金  
當期間ニ於ケル増減

種類	前期繰越高	當期預ケ入高	當期引出高	當期銷却高	當期末現在高
銀行預ケ金	円	円	円	円	円
當座預ケ金					

二 當期末現在預ケ先銀行別

計	郵便貯金	定期預金	普通預金	預金部預金	定期預ケ金	通知預ケ金

預ケ先	銀行名	何銀行	計	擔保	
				種類	數量
	拂込資本金及準備金ノ合計額	円			
	貯蓄銀行法第十四條第一項ノ制限ヲ超過スル金額	円			
	種類				
	數量				
	單價	円			
	價額	円			
	價額	円			

第三十三項 銀行引受手形

一 當期間ニ於ケル増減

前期繰越高	當期買入高	當期取立及讓渡高	當期銷却高	當期末現在高	同上枚數
円	円	円	円	円	

二 當期末現在引受銀行別

手形引受先	金額	貯蓄銀行法第		種類	數量	單價	價額
		十四條第一項	ノ制限ヲ超過スル金額				
銀行名	拂込資本金及準備金ノ合計額						
何銀行	円						
計							

第三十四項 金銭及有價証券信託

一 當期間ニ於ケル増減

種別	前期繰越高	當期増加高	當期減少高	當期銷却高	當期末現在高
金銭信託	円	円	円	円	円
金銭信託以外ノ金銭ノ信託					
有價証券信託					
計					

二 當期末現在信託會社別

信託先	信託財產	擔保	貯蓄銀行法第十四條第三項ノ制限ヲ超過スル金額	
			種類	數量
會社名	拂込資本金及準備金ノ合計額	金銭信託	金銭信託以外ノ金	有價証券
何會社	円	円	円	円
計				

第三十五項 信託會社引受手形

(本項ハ第三十三項ノ例ニ準シテ記載スヘシ)

第三十六項 代理店貸

一 當期間ニ於ケル増減

前期繰越高	當期増加高	當期減少高	當期銷却高	當期末現在高
円	円	円	円	円

二 當期末現在代理店別

店名	金額	擔保ノ種類及價額
何々	円	有價證券ノ種類及價額
計		円

第三十七項 營業用土地建物什器

一 當期間ニ於ケル増減

前期繰越高	當期増加高	當期減少高	當期價額銷却高	當期末現在高
円	円	円	円	円

二 當期末現在高内譯

種	類	數	量	價	額
土地	地	何	坪		円
建物	物	何	棟		
什器	器	何	坪		
計			點		

受入金)

- 四 定期預り金
- 五 保護預り
- 六 債權ノ取立
- 七 公共團體又ハ産業組合ノ金銭出納事務ノ取扱
- 八 公共團體又ハ産業組合ヨリノ要求拂預り金
- 九 有價證券割賦販賣(貯蓄銀行法第五條第六條ノ割賦販賣)
- 十 國債、地方債又ハ特別ノ法令ニ依リ設立シタル法人ノ債券ノ募集又ハ其ノ元利金支拂ノ取扱

第三條 業務ノ種類及方法ヲ記載スル書面ニハ業務ノ方法ニ付左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 預金拂戻ノ豫告期間ニ關スルコト
  - 二 預金者又ハ積金者ニ對スル利益ノ分配又ハ特別利益ノ提供ニ關スルコト
  - 三 預金利息ノ計算ニ關スルコト
  - 四 勧誘又ハ集金ノ地域、方法及經費ニ關スルコト
  - 五 其ノ他重要ナル事項
- 据置貯金又ハ定期積金ニ付テハ前項ニ掲ケタルモ

ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 預ケ入又ハ拂込ノ時期、回数及金額
  - 二 拂戻又ハ給付ノ時期、回数及金額
  - 三 契約ノ不履行、契約ノ解除又ハ契約ニ基ク權利義務ノ讓渡ニ關スルコト
  - 四 利息支拂備金又ハ給付補填備金ニ關スルコト
  - 五 有價證券ノ割賦販賣ニ付テハ第一項第四號及第二項第三號ニ掲ケタルモノノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ
    - 一 販賣スヘキ有價證券ノ種類
    - 二 賦拂金拂込ノ時期、回数及毎回ノ拂込金額
    - 三 有價證券ノ所有權移轉及其ノ引渡ノ時期
    - 四 賦拂金拂込ノ催告ノ方法及催告ノ費用ノ負擔ニ關スルコト
    - 五 買主ニ對スル利益ノ分配又ハ特別利益ノ提供並給付ノ特約ニ關スルコト
  - 六 有價證券給付補填備金ニ關スルコト
- 第三條ノ二 業務ノ種類及方法ヲ記載スル書面ニハ左ノ事項ヲ併セ記載スヘシ
- 一 積金者ニ對スル貸付(貯蓄銀行法第十一條第

一項第五號ノ貸付ニ關スルコト

二 割賦償還ノ方法ニ依ル貸付(貯蓄銀行法第十

一條第一項第八號ノ貸付)ニ關スルコト

第四條 拂戻ニ付期限ヲ定ムル預金契約ノ期間ハ五年ヲ超ユルコトヲ得ス定期積金ノ契約期間ニ付亦同シ

第四條ノ二 有價證券割賦販賣契約ノ期間ハ割増金附債券ノ販賣契約ニ在リテハ一年其ノ他ノモノニ在リテハ五年ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條ノ三 有價證券割賦販賣契約ニ基キ貯蓄銀行ノ給付スヘキ有價證券ノ所有權ヲ移轉ハ賦拂金ノ全額ヲ受入レタル後ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第四條ノ四 有價證券割賦販賣契約ニ基キ貯蓄銀行ノ受入ルヘキ賦拂金總額及給付スヘキ有價證券ノ種類、記號ハ販賣契約締結ノ際之ヲ定ムルコトヲ要ス

第四條ノ五 有價證券割賦販賣業法施行細則ハ第十條ノ規定ニ限リ貯蓄銀行ニシテ有價證券割賦販賣ノ業務ヲ營ム者ニ付之ヲ適用ス

第五條 貯蓄銀行法第九條第一項ノ規定ニ依ル供託

長官ニ提出スヘシ

地方長官ハ前項ノ申請ニ對シ承認ヲ爲シタルトキハ申請書ノ寫ヲ添附シテ遲滞ナク之ヲ大藏大臣ニ報告スヘシ

第八條ノ二 貯蓄銀行法第九條第二項ノ規定ニ依ル供託代用ニ關シテハ昭和六年大藏省令第二十一號預金部預金供託代用規程ノ定ムル所ニ依ル

第八條ノ三 貯蓄銀行ハ信託會社ニ對シ金錢又ハ有價證券ノ信託ヲ爲サムトスルトキハ左ノ方法ニ依リ契約ヲ爲スヘシ

一 當該貯蓄銀行ヲ元本及利益ノ受益者ト爲スコト

二 契約期間ヲ金錢信託ニ在リテハ二年其ノ他ニ在リテハ一年內ト爲スコト

三 金錢信託ニ付テハ元本ニ損失ヲ來シタル場合ニ於テハ其ノ損失額ノ全額ニ對シ補填セシムル契約ヲ爲スコト

四 金錢信託以外ノ信託ニ付テハ信託財産ノ運用ヲ貯蓄銀行法第十一條ニ定ムル方法ニ限ルコト

第八條ノ四 貯蓄銀行ハ金錢又ハ有價證券ノ信託ヲ

ハ本店ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第六條 貯蓄銀行法第九條第一項ノ規定ニ依リ供託スル國債及有價證券ノ供託價格ハ每半年末日ノ時價ヲ超ユルコトヲ得ス

第七條 貯蓄銀行ハ貯蓄銀行法第九條第一項ノ規定ニ依リ新ニ供託ヲ爲シタルトキハ供託受領證ノ寫及供託價格ヲ記載シタル書面ヲ添附シ每半年末日ヨリ一月內ニ之ヲ大藏大臣ニ届出ツヘシ

臨時ニ供託ヲ爲シタルトキハ其ノ都度遲滞ナク前項ニ準シ届出ツヘシ

第八條 貯蓄銀行ハ貯蓄銀行法第九條第一項ノ規定

ニ依リテ供託シタル國債又ハ有價證券ノ下戻ヲ受ケムトスルトキハ大正十一年司法省令第二號供託物取扱規則又ハ大正十一年司法省令第四號ノ手續ニ依ルノ外地方長官力其ノ下戻ヲ承認シタルコトヲ證スルニ足ル書面ヲ供託局、供託届出張所又ハ供託事務ヲ取扱フ銀行ニ提出スヘシ

貯蓄銀行ハ前項ノ承認ヲ受ケムトスルトキハ其ノ事由並國債又ハ有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額及供託價格ヲ記載シタル申請書ヲ地方

爲スコトニ依リ貯蓄銀行法第十二條乃至第十四條

ノ制限ヲ免ルルコトヲ得ス

第九條 貯蓄銀行ハ貯蓄銀行法第十一條第十二項ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケムトスルトキハ認可申請書

ニ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ之ヲ大藏大臣ニ提出スヘシ

一 有價證券ノ種類

二 會社ノ發行シタル有價證券ニ在リテハ發行會社ノ商號及其ノ本店ノ所在地

三 擔保附社債信託法ニ依リテ發行シタル社債ニ在リテハ其ノ受託會社ノ商號

四 有價證券ノ元金又ハ利息若ハ配當金ノ支拂ニ付保證アルモノニ在リテハ其ノ保證人ノ氏名又ハ商號及住所

第十條 貯蓄銀行カ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ商法第七十八條ノ手續ヲ爲シタル後各貯蓄銀行ノ總取締役ノ署名シタル認可申請書ニ左ノ書類ヲ添附シテ之ヲ大藏大臣ニ提出スヘシ

一 株主總會ノ決議錄及社員ノ同意アリタルコトヲ知ルニ足ル書面

- 二 合併ニ關スル契約書
- 三 合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立スル會社ノ定款並業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面
- 四 商法第七十八條第一項ノ規定ニ依リ作成シタル貸借對照表
- 五 商法第七十八條第二項ノ規定ニ依ル公告及催告並商法第二百二十條ノ二ノ規定ニ依ル通知ヲ爲シタルコトヲ知ルニ足ル書面
- 第十一條 貯蓄銀行カ定款ヲ變更セムトスルトキハ認可申請書ニ理由書及株主總會ノ決議録ヲ添附シテ之ヲ大藏大臣ニ提出スヘシ資本減少ニ關シ定款ヲ變更セムトスル場合ニ於テハ尙前條第四號及第五號ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ
- 第十二條 貯蓄銀行カ業務ノ種類又ハ方法ヲ變更セムトスルトキハ認可申請書ニ理由書ヲ添附シテ之ヲ大藏大臣ニ提出スヘシ
- 第十三條 削除
- 第十四條 削除
- 第十五條 貯蓄銀行ハ左ノ場合ニ於テハ遲滞ナク其

- ノ事由ヲ具シテ之ヲ大藏大臣ニ届出ツヘシ
- 一 銀行法第六條ニ掲ケタル事項ニ付定款變更ノ認可ヲ受ケテ之ヲ實行シタルトキ
- 二 取締役又ハ監査役ノ就任又ハ退任アリタルトキ
- 第十六條 貯蓄銀行ノ業務報告書ハ附屬雜形ニ依リ調製スヘシ
- 第十六條ノ二 貯蓄銀行ノ監査役カ作成スヘキ監査書ハ附屬雜形ニ依ルヘシ
- 第十七條 本令ニ定メタル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届出ニ虛偽ノ記載ヲ爲シ若ハ事實ヲ隱蔽シタルトキハ取締役又ハ監査役ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
- 第十八條 本令ニ別段ノ規定ヲ設ケサル事項ニ付テハ銀行法施行細則ニ依ル
- 第十九條 本令ハ大正十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 第二十條 貯蓄銀行條例施行細則ハ之ヲ廢止ス舊令ニ依リテ爲シタル申請其ノ他ノ行爲ハ本令中

之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

- 第二十一條 貯蓄銀行法附則第二十四條第二項ノ貯蓄銀行ハ本令施行ノ際其ノ現ニ營ム業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面ヲ本令施行後一月内ニ大藏大臣ニ提出スヘシ
- 第二十二條 本令施行前貯蓄銀行ノ爲シタル契約ニシテ本令第四條ノ規定ニ適合セサルモノニ付テハ其ノ契約ノ完了スル迄仍之ヲ繼續スルコトヲ得
- 第二十三條 貯蓄銀行カ提出スル大正十年七月一日ヨリ同年十二月三十一日ニ至ル間ノ營業ノ報告書ハ舊令附屬雜形ニ依リ調製スヘシ
- 第二十四條 貯蓄銀行法施行ノ際貯蓄銀行ニ非スシテ現ニ大正四年法律第二十三號附則第四項ノ規定ニ依リ貯蓄銀行法第一條第一項第三號第四號ノ業務ヲ繼續スル者ノ提出スル營業ノ報告書ハ附屬雜形ニ依ルコトヲ要セス

附則 (大正十一年大藏省令第二十四號)

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
貯蓄銀行カ大正十一年司法省令第五號ノ規定ニ依リ

貯蓄銀行法第九條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債又ハ有價證券ノ下戻ヲ受ケムトスル場合ニ付テハ仍舊令ニ依ル

(業務報告書雜形)  
第何期業務報告書  
昭和 年 月 日ヨリ同年 月 日ニ至ル間ノ業務ノ成績左ノ通及報告候也  
昭和 年 月 日

何府何市何町何番地  
株式何貯蓄銀行  
取締役 氏 名印  
取締役 氏 名印  
取締役 氏 名印  
監査役 氏 名印  
大藏大臣 殿  
目次  
一 第何期營業報告書







第七項 預金、積金及賦拂金

種類	前期繰越高	当期増加高	当期減少高	当期末現在高	同上口數
普通貯金	円	円	円	円	
据置貯金					
定期積金					
定期預金					
當座預金					
特別當座預金					
通知預金					
、、、					
賦拂金					
計					

(合併其ノ他ノ事由ニ因リ貯蓄銀行法第一條第一項及第五條第一號第五號第六號ノ受入金以外ノモノアルトキハ各當該欄ノ左傍ニ内書シ且其ノ事由ヲ附記スヘシ)

第八項 普通貯金

一 當期末現在高ヲ金額ノ大小ニ依リ區別スレハ左ノ如シ

口數	金額
一萬圓以上	円
五千圓以上	円
千圓以上	円
五百圓以上	円
百圓以上	円
五十圓以上	円
五十圓未滿	円
計	円
一口當金額	円

二 普通貯金ノ利率左ノ如シ

最高	最低	普通
年	年	年
分	分	分
厘	厘	厘

第九項 据置貯金

(普通貯金ノ例ニ準シテ記載シ且金額大小別ノ次ニ左ノ事項ヲ挿入シ第二號表ヲ第三號表トシテ記載スヘシ)  
 二 當期末現在高ヲ拂戻期限ノ長短ニ依リ區別スレハ左ノ如シ

口數	金額	五年以内	四年以内	三年以内	二年以内	一年以内	計
	円						
	円						
	円						
	円						
	円						
	円						
	円						

(大正十年十二月三十一日以前締結シタル契約ニシテ五年ヲ超ユルモノアルトキハ五年以内ノ桁ノ上ニ「五年ヲ超ユルモノ」ノ一桁ヲ設ケ其ノ口數及金額ヲ記載スヘシ)

第十項 定期積金

一 當期間ニ於ケル給付契約高ノ増減

前期繰越高	円	當期増加高	円	當期減少高	円	當期末現在高	円
-------	---	-------	---	-------	---	--------	---

二 當期末現在高ヲ給付契約高ノ大小ニ依リ區別スレハ左ノ如シ

口數	一萬圓以上	五千圓以上	千圓以上	五百圓以上	百圓以上	百圓未満	計	一口當金額
給付契約高	円	円	円	円	円	円	円	円
受入金								

三 當期末現在高ヲ給付期限ノ長短ニ依リ區別スレハ左ノ如シ

口數	五年以内	四年以内	三年以内	二年以内	一年以内	計
給付契約高	円	円	円	円	円	円
受入金						

(大正十年十二月三十一日以前締結シタル契約ニシテ五年ヲ超ユルモノアルトキハ五年以内ノ桁ノ上ニ「五年ヲ超ユルモノ」ノ一桁ヲ設ケ其ノ口數及金額ヲ記載スヘシ)

四 定期積金ノ利廻リ左ノ如シ

最高	年	分	厘
最低	年	分	厘
普通	年	分	厘

一 第十一項 保護預リ  
當期末現在高

種類	口數
披封預リ	
封緘預リ	
貸渡保護函	
計	

二 披封預リ物件種類別

種類	株券	諸面證券	總ノ枚數	額
諸公債證書			円	
社債券				





當期總損金	
(内 前期繰越損金)	
差引當期利益(損失)金	
内當期純益(純損)金	

第四十一項 本支店別營業狀況

(支店ヲ有スル銀行ハ本様式ニ依リ各號毎ニ本店及第二項第二號所載ノ支店順ニ記載シ且本支店ヲ通シタル合計ヲ附スヘシ)

一 預金、積金及賦拂金

本店	支店	種別	前期繰越高	當期增加高	當期減少高	當期末現在高	同上口數
			円	円	円	円	
		普通貯金					
		据置貯金					
		定期積金					
		定期預金					
		當座預金					
		特別當座預金					

本店	支店	種別	通知預金	、	、	、	賦拂金	計
		通知預金						
		、						
		、						
		賦拂金						
		計						

二、諸貸付金

本店	支店	種別	前期繰越高	當期貸付高	當期回收高	當期銷却高	當期末現在高	同上口數
			円	円	円	円	円	
		有價證券擔保貸付金						
		不動産抵當貸付金						
		預金者ニ對スル貸付金						
		定期積金者ニ對スル貸付金						
		割賦販賣契約者ニ對スル貸付金						
		道府縣市町村ニ對スル貸付金						
		割賦償還貸付金						
		計						

三 預ケ金及郵便貯金

本店名	本店							種別	前期繰越高	当期預ケ入高	当期引出高	当期銷却高	当期末現在高
	計	郵便貯金	定期預金	普通預金	預金部預金	、 、 、 、 、	定期預ケ金						
本店	前期繰越高	当期入金高	当期出金高	当期末現在高									

五 損益

本店	当期總益金	当期總損金	当期利益(損失)金	前期ニ對スル当期利益(損失)金ノ増減(△)額
本店	円	円	円	円

第四十二項 當期末現在株主及其ノ持株數

何株式(何圓拂込済)	何株式(何圓拂込済)	合 計	住 所	氏 名
株	株	株		何 某
計				

(取締役又ハ監査役タルヘキ資格株數ヲ有セサル株主ニ付テハ其ノ人員數及持株總數ノ記載ニ止ムルコトヲ得)

(株主ノ住所ハ府縣別ノ程度ニ止ムルコトヲ得)

(本項ハ之ヲ別表ニ記載スルコトヲ得)

二 第何期末昭和 年 月 日現在貸借對照表

株式會社 何貯蓄銀行

現金預ケ金勘定	資 産 (借 方)	金 額	負 債 (貸 方)	金 額
現 金	預金、積金及賦拂金勘定	円	普通貯金	円



郵便貯金	預金部預金	銀行預金	有價證券	國債	地方債	社債	株式	滿洲國有價證券	買入手形	銀行引受手形	信託會社引受手形	信託財產	金錢信託	金錢信託以外ノ金錢ノ信託	有價證券	貸付金	有價證券擔保貸付金	不動產抵當貸付金	預金者ニ對スル貸付金	定期積金者ニ對スル貸付金	割賦販賣契約者ニ對スル貸付金
------	-------	------	------	----	-----	----	----	---------	------	--------	----------	------	------	--------------	------	-----	-----------	----------	------------	--------------	----------------

何準備金	法定準備金	資本	株主	預金	未拂利息	未拂配當金	未拂利息其ノ他	雜勘	有價證券給付補填備金	給付補填備金	利息支拂備金	備勘	賦拂	通知預金	特別當座預金	當座預金	定期預金	定期積金	據置貯金
------	-------	----	----	----	------	-------	---------	----	------------	--------	--------	----	----	------	--------	------	------	------	------

道府縣市町村ニ對スル貸付金	割賦償還貸付金	代理店貸	不動產勘定	營業用土地建物什器	所有不動產	株主勘定	拂込未済資本	合計
何積立金	何基金	當期利益	（内）前期繰越金	何前期繰越金	何前期繰越金	何前期繰越金	何前期繰越金	合計

備考

一 支店ヲ有スル銀行ハ本表（本支店合併貸借對照表）ノ外本店及各支店ノ貸借對照表ヲ本表ノ様式ニ準シテ作成添附スヘシ

二 本支店別貸借對照表ニハ本店及各支店間並各支店相互間ニ於ケル勘定ヲモ記載スヘシ

三 本支店合併貸借對照表作成ニ當リ本店及各支店間並各支店相互間ニ於ケル勘定中未達ノ爲期末ニ於テ整理ヲ了セサルモノアルトキハ之ヲ調査シ其ノ性質ニ從ヒ相當科目ニテ整理記載スヘシ若シ本表作成前ニ之ヲ調査スルコトヲ得サリシモノアル場合ニハ未達勘定ノ科目ヲ以テ之ヲ記載スヘシ

四 尙本支店別貸借對照表ノ勘定ノ各合計金額ニシテ未達ノ爲本支店合併貸借對照表ノ各當該勘定ノ金額ニ符合セサルモノアルトキハ其ノ差額及整理ノ結果ヲ説明シタル書面（各店間勘定差額説明書）ヲ作成シ之ヲ本店貸借對照表ニ添附スヘシ

三 總括科目名及其ノ金額ハ「ゴジツク」式活字若ハ大型ノ文字ヲ用フル等識別シ易キ方法ニ依リ之ヲ記載スヘシ

三 第何期昭和 年自 月 日 損益計算書

株式 何貯蓄銀行

利 益	損 失
國 債 利 息 地 方 債 利 息 社 債 利 息 株 式 配 當 金 滿洲國有價證券利息及配當金 貸 付 金 利 息 信 託 利 益 金 手 形 賣 買 益 預ケ金其ノ他ノ利息 受 入 手 數 料 有 價 證 券 賣 却 益 有 價 證 券 債 還 益 銷 却 債 權 取 立 益	普 通 貯 金 利 息 利 息 支 拂 備 金 繰 入 給 付 補 填 備 金 繰 入 有 價 證 券 給 付 補 填 備 金 繰 入 預 金 其 ノ 他 ノ 利 息 勸 誘 及 集 金 費 代 理 店 手 數 料 特 別 利 益 提 供 金 有 價 證 券 價 額 銷 却 滯 貨 金 銷 却 何 價 額 銷 却 土 地 建 物 賃 借 料 稅 金
金 額	金 額
円	円

未 拂 利 息 其 ノ 他 戻 入 前 期 繰 越 金 何 積 立 金 戻 入 計	行 員 恩 給 及 一 時 給 與 金 給 料 手 當 費 旅 費 未 經 過 利 益 戻 入 計 當 期 利 益 金 ( 內 當 期 純 益 金 ) 合 計
合 計	合 計

(本店及各支店間並各支店相互間ニ於ケル利息其ノ他ノ損益ハ之ヲ控除シテ記載スヘシ)

四 第何期昭和 年自 月 日 準備金及利益ノ配當ニ關スル書面

株式 何貯蓄銀行

當 期 純 益 金  
 前 期 繰 越 金  
 何 積 立 金 戻 入  
 合 計 當 期 利 益 金  
 之ヲ處分スルコト左ノ如シ  
 法 定 準 備 金

何圓 何圓 何圓 何圓

何圓

何準備金  
何積立金  
何基金  
何與金  
何當金  
後期繰越金

何圓  
何圓  
何圓  
何圓  
何圓  
何圓

(一株ニ付何圓)  
(年何分ノ割)

(監査書雛形)  
監査書(昭和 年第何季至 月 日)

何府何市何町何番地  
何縣何郡何村  
株式會社 何貯蓄銀行  
監査役 氏 名印

昭和 年 月 日作成  
昭和 年 月 日備付

(本書ニハ監査役全員署名スヘシ)

(監査書ハ毎年一月ヨリ三月迄ヲ第一季、四月ヨリ六月迄ヲ第二季、七月ヨリ九月迄ヲ第三季、十月ヨリ十二月迄ヲ第四季トス)

(本書ニハ各季末現在ノ日計表ヲ添附スヘシ)

第一 總況

(本項ニハ銀行ノ業務及財産ノ狀況ニ付常時調査シタル結果ノ概要ヲ記載スヘシ但シ第二季及第四季ノ監査書ニハ各營業年度ノ決算ニ關スル調査ノ結果ヲモ記載スヘシ)

第二 調査表

(調査表ハ左記様式ニ依リ各別表トスヘシ)

甲 新舊役員及是等ノ關係先ニ對スル債權調

甲號表 昭和 年第何季末 月 日現在 株式會社 何貯蓄銀行

債務者(借主) 新舊役員 氏名 又ハ 商號	職業	有價証券		不動産		預金		定期		割賦		合計		擔保		無擔保額	債務 ノ 證 又 裏 當 季 間 於 ケ テ 著 大 ノ 減 少 有 ラ ル ハ ハ ハ	備考
		債券 保付 金	其他 保付 金	地 權 金	其 他 金	預 金 金	定期 金	買 入 金	買 入 金	買 入 金	買 入 金	擔 保 額	上 ノ 不 足 額					
計		円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円			

備考

- (一) 支店ヲ有スル銀行ニ在リテハ本支店分ヲ合算シ記載スヘシ以下各號諸表ニ付亦同シ
- (二) 新舊役員トハ現在取締役、監査役及支配人並退任後五年ヲ經過セサル取締役監査役及支配人ヲ指稱ス是等ノ關係先トハ其ノ家族、親族、使用人又ハ關係會社等ヲ指稱ス

- (三) 本表ニハ債務者(借主)毎ニ各口ヲ合算シタルモノヲ記載スヘシ
- (四) 債務者(借主)ニシテ銀行ニ對シ預金ヲ有スルモノアルトキハ備考欄ニ之カ種類別金額ヲ記載スヘシ

甲號附屬表ノ一 有價證券擔保貸付金明細表 昭和 年第何季末 月 日現在 株式 何貯蓄銀行 會社

債務者(借主)ノ氏名及ハ商號	當初貸付年月日	辨濟期日	當 初 貸付高	現 貸 付高	利 息 割 合	擔 保			承認 承 監 氏 名	當季間ニ顯増ナル大要於著減	備 考
						種 類	數 量	單 價			
			円	円				円			
計											

備 考

- (一) 本表ハ各口毎ニ之ヲ記載シ同一債務者ニ屬スルモノハ同一場所ニ列記スヘシ
- (二) 擔保ノ欄種類ニハ有價證券ノ銘柄ヲ掲クヘシ

甲號附屬表ノ二 不動産抵當貸付金明細表

昭和 年第何季末 月 日現在

株式 何貯蓄銀行 會社

債務者(借主)ノ氏名及ハ商號	當初貸付年月日	辨濟期日	當 初 貸付高	現 貸 付高	利 息 割 合	抵 當 物			承認 承 監 氏 名	當季間ニ顯増ナル大要於著減	備 考
						種 類	數 量	單 價			
			円	円				円			
計											

備 考

抵當物ノ欄種類ニハ土地ニ付テハ其ノ地目ヲ、單價ニハ段又ハ坪當リノ時價ヲ掲ケ其ノ他之ニ準ス



甲號附屬表ノ五 割賦販賣契約者ニ對スル貸付金明細表 昭和 年第何季末 月 日現在 株式何貯蓄銀行 會社

債務者(借主)ノ氏名又ハ商號	當初貸付年月日	辨濟期日	當初貸付高	現貸付高	利息割合	賦拂金受入高	承認在任氏名	當季間ニ顯増ナル大ナル減	備考
			円	円		円			
計									

甲號附屬表ノ六 割賦償還貸付金明細表 昭和 年第何季末 月 日現在 株式何貯蓄銀行 會社

債務者(借主)ノ氏名又ハ商號	當初貸付年月日	最終償還期日	當初貸付高	利息割合	償還ノ方法ノ据置償還回数	現貸付高	保 證 人		承認在任氏名	當季間ニ顯増ナル大ナル減	備考
							氏名	職業			
			円		円	円					
計											

備考

(一) 擔保シタルトキハ保證人欄ノ次ニ擔保欄(甲號附屬表ノ一擔保欄ニ相當スルモノ)ヲ設ケ該當事項ヲ記載スヘシ

(二) 貸付後債務者ニシテ預金取引ヲ開始シタルモノアルトキハ其ノ開始年月日及預金ノ種類ヲ備考欄ニ記載スヘシ



乙號附屬表ノ一 有價証券擔保貸付金 (不良ト認ムル分) 明細調

昭和 年第何季末 月 日現在

株式會社 何貯蓄銀行

(本表以下各表ハ甲號附屬各表ノ例ニ準シテ作成シ備考欄ノ前ニ回收不能見込額及回收困難額ニ關スル欄ヲ設ケ該當事項ヲ明細ニ記載スベシ)

乙號附屬表ノ二 不動産抵當貸付金 (不良ト認ムル分) 明細調

昭和 年第何季末 月 日現在

株式會社 何貯蓄銀行

乙號附屬表ノ三 預金者ニ對スル貸付金 (不良ト認ムル分) 明細調

昭和 年第何季末 月 日現在

株式會社 何貯蓄銀行

乙號附屬表ノ四 定期積金者ニ對スル貸付金 (不良ト認ムル分) 明細調

昭和 年第何季末 月 日現在

株式會社 何貯蓄銀行

乙號附屬表ノ五 割賦販賣契約者ニ對スル貸付金 (不良ト認ムル分) 明細調

昭和 年第何季末 月 日現在

株式會社 何貯蓄銀行

乙號附屬表ノ六 割賦償還貸付金 (不良ト認ムル分) 明細調

昭和 年第何季末 月 日現在

株式會社 何貯蓄銀行

○貯蓄銀行法ヲ臺灣及樺太ニ

施行スルノ件

(大正十一年十二月八日勅令第四百五十五號)

貯蓄銀行法ハ之ヲ臺灣及樺太ニ施行ス

附則

本令ハ大正十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

○關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ

於ケル貯蓄銀行ニ關スル件

(大正十一年四月十七日勅令第二百八號)

(改正) 昭和九年第三九五號

關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル貯蓄銀行ニ關シテハ貯蓄銀行法ニ依ル但シ同法中主務大臣トアルハ滿洲國駐劄特命全權大使トス

附則

本令ハ大正十一年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

○關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ

於ケル貯蓄銀行ニ關スル勅令

ノ施行ニ關スル件 (大正十一年五月七日) 關東廳令第三十七號

○貯蓄銀行法ノ臺灣ニ於ケル

特例ニ關スル件

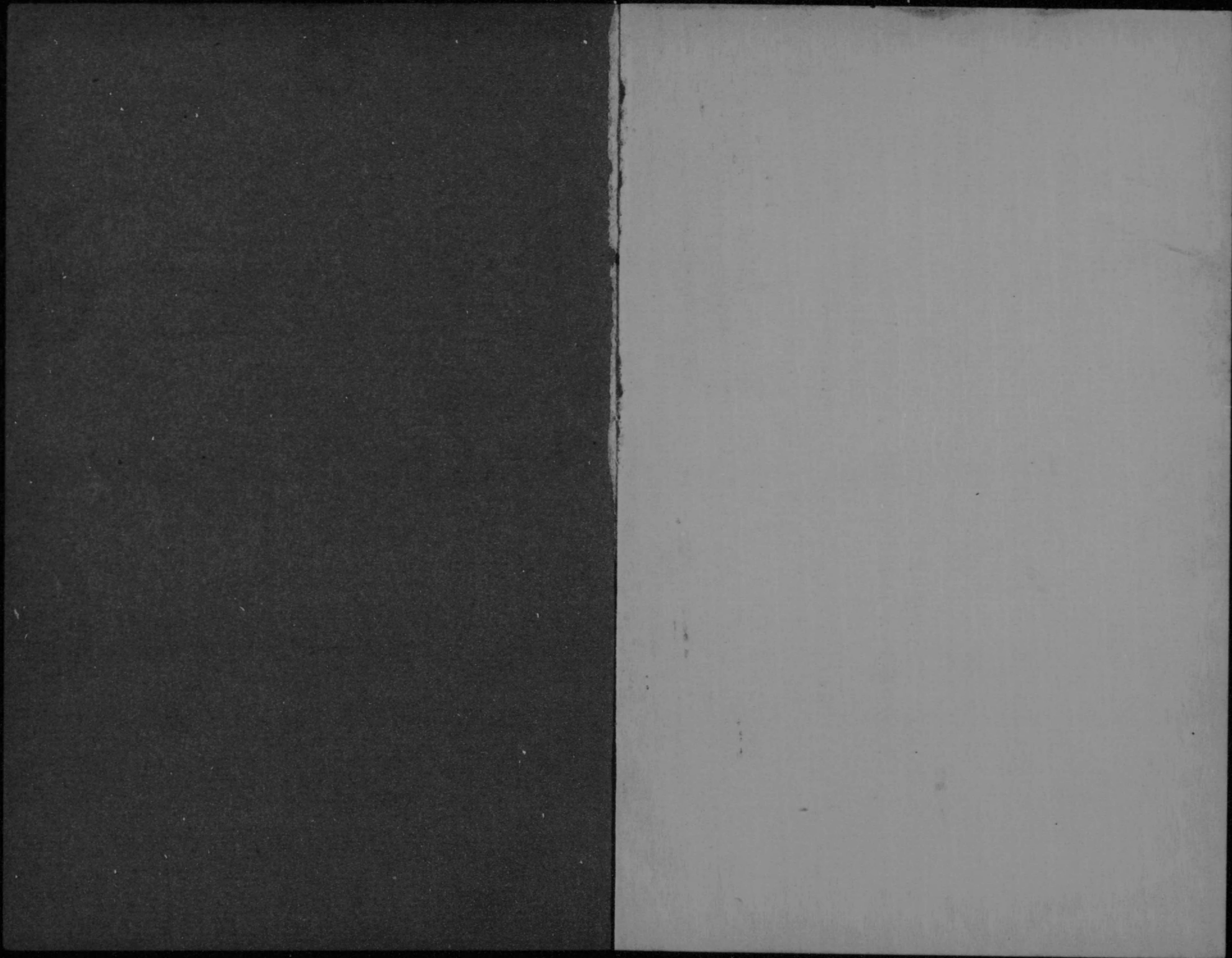
(昭和六年勅令) 第一八二號

貯蓄銀行法第十一條中道府縣市町村トアルハ臺灣ニ於テハ州廳地方費市街庄トス

附則

本令ハ公布ノ日(六・七・一六)ヨリ之ヲ施行ス





昭和十一年八月廿五日印刷  
昭和十一年九月一日發行

〔定價金拾五錢〕

編者 東京市麴町區九段一丁目四番地  
銀行研究社

發行者 東京市麴町區九段一丁目四番地  
國松

印刷者 東京市麴町區九段一丁目四番地  
海野勇助

發行所 東京市麴町區九段一丁目四番地  
銀行研究社

振替口座東京五七八一八番  
電話九段(33)一四五三番